

「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産シンポジウム

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を守り、活かし、そして未来へ

講演1 世界墳丘墓見聞録ーみえてきた百舌鳥・古市古墳群の文化的意義ー
中久保 辰夫 (京都橘大学准教授)

講演2 世界の土製建造物の保存と復元にみる百舌鳥・古市古墳群の将来像
下田 一太 (筑波大学准教授)

講演3 岐路に立つ世界遺産～表面化する矛盾と課題
中村 俊介 (朝日新聞 大阪本社 編集委員)

パネルディスカッション

「世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を守り、活かし、そして未来へ」

中久保氏・下田氏・中村氏 司会 伊藤 聖浩 (羽曳野市教育委員会 文化財課)



中久保 辰夫 氏



下田 一太 氏



中村 俊介 氏

- 《とき》 12月18日(土) 13:00～16:30
- 《場所》 LIC はびきの (羽曳野市立生活文化情報センター) ホールM
- 《定員》 450人 (事前申込み要・先着順)
- 《費用》 資料代として500円
- 《申込・問合せ》 はがき、またはEメール (電話申込不可) 「シンポ参加」と「氏名、住所、電話番号」を明記。
1通のはがき、またはEメールで5人まで。(全員の氏名と、代表者の住所と電話番号を明記)
- 〒583-8585 羽曳野市誉田4-1-1 羽曳野市教育委員会 世界遺産課 メール sekaibunka@city.habikino.lg.jp

《主催》 羽曳野市世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」保存・活用実行委員会
(羽曳野市教育委員会、NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会、羽曳野まち歩きガイドの会、四十四の会)
《後援》 羽曳野市、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議、大阪府立近つ飛鳥博物館

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容の変更または中止する場合があります。

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の魅力と味わう市民講座

《主催》 羽曳野市世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」保存・活用実行委員会 (羽曳野市教育委員会、NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会、羽曳野まち歩きガイドの会、四十四の会)

私たちのまちには、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」があります。「人類全体の宝」となった「百舌鳥・古市古墳群」の魅力に、さまざまな視点から迫ります。皆さんの知的好奇心をくすぐる講演です。

第3回「埴輪からみた百舌鳥・古市古墳群の王陵造営」

奈良文化財研究所都城発掘調査部
飛鳥・藤原地区考古第一研究室長

ひろせ さとる
廣瀬 覚

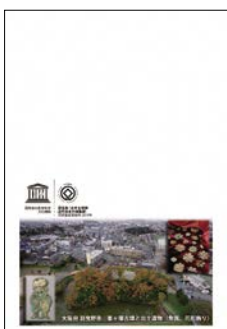


▲ 栗塚古墳出土土形埴輪

- 《とき》 令和4年1月29日(土) 14:00～15:30
- 《場所》 市民会館 ホール
- 《定員》 150人 (事前申込要・先着順)
- 《費用》 500円 (資料代)
- 《申込・問合せ》 はがき、またはEメール (電話申込不可) に「市民講座」と「氏名、住所、電話番号」を明記。1通のはがき、またはEメールで5人まで (全員の氏名と代表者の住所、連絡先を明記)
- 〒583-8585 羽曳野市誉田4-1-1 羽曳野市教育委員会 世界遺産課
メール sekaibunka@city.habikino.lg.jp

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容の変更または中止する場合があります。

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」オリジナル年賀はがき販売



※イメージです

毎回好評の、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」のオリジナル年賀はがき。今回は、世界遺産の構成資産で貴重な副葬品が出土した峯ヶ塚古墳がデザインされています。

《販売開始日》

11月4日(木)～

《販売場所》

羽曳野市役所 世界遺産課 (別館2階)
観光案内所 (古市駅東広場内、(木)定休日)

《問合せ》

世界遺産課 ☎ 072-958-1111 内線 4401・4481

- 1枚 63円
- 限定 5,000枚 (先着順)
- 10枚単位での販売
- 1人 100枚まで